

# 話題の本を英語で読む！

★ 2階外国語資料コーナーの本から話題作をご紹介します！

## 1 *The truffle underground*

Ryan Jacobs / 著                      Clarkson potter, 2019

請求記号 Y657.8/J                      資料番号 0180668667

日本語訳は『トリュフの真相 世界で最も高価なキノコ物語』  
(清水 由貴子 / 訳、パンローリング、2020.7)

トリュフはイタリアやフランスでしか採れないキノコ的一种で、人工的に栽培することは出来ません。採取場所はトップシークレット、ライフル片手に農場をパトロールするのは序の口。人造の香りを天然と偽って売り出す詐欺行為が横行し、ライバルのトリュフ探索犬に毒入りの餌を与えて殺すことまで行われているそう。人々をそれほどまでに魅了するトリュフ。一度ほかほかのご飯にたっぷりのお醤油で食べてみたい…と思うのは日本人だからなのでしょうね。

## 海外で評価される日本の女性作家たち

柳美里の「JR上野駅公園口」が2020年全米図書賞の翻訳部門を受賞したのは記憶に新しいところですが、実は2018年にも同じ賞を現在ドイツ在住の日本人作家・多和田葉子「献灯使」（英語タイトル:The emissary 請求記号Y913.6/TA）が受賞しています。また、惜しくも大賞は逃しましたが2020年のブッカー国際賞（翻訳部門）にも小川洋子「密やかな結晶」（英語タイトル:The memory police 請求記号Y913.6/OG）がノミネートされて話題となりました。雑誌Time誌が選ぶ「今読むべき100冊」には上記柳美里作品に加え、川上未映子「乳と卵」、松田青子「おばちゃんたちのいるところ」が挙げられています。なぜ女性作家による作品ばかりが世界で注目を集めているのか正確なところはわかりませんが、受賞にあたっては翻訳が重要な役割を果たしているのは間違いありません。事実、賞の発表時には原作者と翻訳者が同席し、賞金は平等に分配されます。話の内容を正確に訳すのはもちろんのこと、作品の雰囲気を保つためにどのような言葉を使っていくかは翻訳家の腕の見せどころ。特に福島弁で書かれている「JR上野駅公園口」は英語にする際にどんな工夫がなされているのでしょうか。現在中央図書館では、すでに所蔵している2作品に加え、このコラムで取り上げた作品の英訳本はすべて発注しています。近いうちに貸出できるようになりますので、気になる方はぜひチェックしてみてください。



貸出中の場合もあります。ご不明の点はカウンター職員におたずねください。  
〒064-8516 札幌市中央区南22条西13丁目1番1号                      電話 011-512-7355  
<http://www.city.sapporo.jp/toshokan/>                      札幌市中央図書館 2階 外国語資料コーナー

## 2 *Deadliest enemy Our war against killer germs*

Michael T. Osterholm、Mark Olshaker／著 Little Brown Spark  
請求記号 Y498.6/O 資料番号 0180668766

日本語訳は『史上最悪の感染症 結核、マラリアからエイズ、エボラ、薬剤耐性菌、COVID-19まで』

(五十嵐 加奈子／[ほか]訳、青土社、2020.9)

人類はこれまでも多くの恐ろしい感染症と闘ってきました。黄熱病の研究中に「わたしにはわからない」という言葉を遺して亡くなった野口英世。当時は菌よりもはるかにサイズが小さい「ウイルス」の存在がまだ知られていなかったのです。COVID-19の全容解明が進み、コロナウイルスによる被害が食い止められることを願うばかりです。

## 3 *The pigeon tunnel Stories from my life*

John Le Carre／著 Viking, 2016  
請求記号 Y930.2/LE 資料番号 0180131856

日本語訳は『地下道の鳩 ジョン・ル・カレ回想録』(加賀山 卓朗／訳、早川書房、2017.3)

『ティンカー、ティラー、ソルジャー、スパイ』などの重厚なスパイ小説で知られる英国のJohn Le Carre氏が現地時間12月12日の夜に亡くなりました。氏はオックスフォード大学卒業後、MI5(保安局)、MI6(対外情報部)に所属して諜報世界の中に身を置き、その経験を活かして東西冷戦下でのスパイを描いた作品を次々に執筆して本格スパイ小説の第一人者としての地位を確立しました。本書はその波乱に満ちた人生を描く唯一の自伝です。

## 4 *She said Breaking the sexual harassment story that helped ignite a movement*

Jody Kantor、Megan Twohey／著 Bloomsbury, 2020  
請求記号 Y368.6/K 資料番号 0180668840

日本語訳は『その名を暴け #MeTooに火をつけたジャーナリストたちの闘い』  
(古屋美登里／訳、新潮社、2020.7)

ハリウッドの大物プロデューサーが、絶大な権力を基に多数の女優や従業員たちに性的嫌がらせを続け、巨額の示談金などにより沈黙を強いてきた…このおぞましい実態をニューヨーク・タイムズの二人の女性記者が綿密な取材で炙り出し、これをきっかけに次々と同様の事件が発覚しました。本書は#MeToo運動が世界的に広がるきっかけとなった著者たちの活動を克明に記録したものです。二人の取材活動を通して、ニューヨーク・タイムズはピューリッツァー賞を受賞しました。



貸出中の場合もあります。ご不明の点はカウンター職員におたずねください。  
〒064-8516 札幌市中央区南22条西13丁目1番1号 電話 011-512-7355  
<http://www.city.sapporo.jp/toshokan/> 札幌市中央図書館 2階 外国語資料コーナー